

八潮ネクサス株式会社
2021年 運輸安全マネージメント

2021.1.1

1.輸送の安全に関する基本方針

①安全方針「安全は全てに優先する」

乗務員、交通パートナーが、事故により尊い命を落とす事が無いよう、怪我する事がないように「安全は全てに優先する」を励行する。

②PDCAマネージメントで安全取組みの実施

輸送の安全を確保するため、取組みを実施。また、創意工夫によりPDCAサイクルをスパイラルアップさせていく。

③拘束時間管理を徹底

改善基準告示遵守にむけて、運行管理者・乗務員に対する教育をしっかりと行う

④積極的な情報公開

輸送の安全に関する情報等については、ドライバー教育の場や掲示物を利用して積極的に公表する

2.安全に関する目標

	2020年		2021年
	目標	成績	目標
人身事故	0件	1件	0件
労災事故	0件	0件	0件
物損事故	0件	4件	0件
自動車事故報告規則第2条に該当する事故	0件	0件	0件

3.輸送の安全の為に過去に行った取り組み

項目	内容
教育	<ul style="list-style-type: none">・ 2014年より乗務員教育の内容を見直し、・ 2015年1月 全体安全会議の開催・ 外部講師による講義を全体安全会議で開催・ 2020年 事故惹起者への定期個別教育制度の導入
設備	<ul style="list-style-type: none">・ 2020年 360° 型のドライブレコーダー導入
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 2014年よりドライバーコンテストに参加

4.2020年度 安全総括

取組み	総括
安全教育	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ感染の対応として全体での安全会議が中止となってしまった・ 12項目の教育については、個人対応にて継続実施出来たが集合教育は難しくなった → 今後、このような状況下でも乗務員への安全教育が出来る取り組みが課題となる・ 事故を繰り返す乗務員に対し、個別の定期安全教育を実施した。当人の性格や癖に特化した指導を行うことで、改善が進み事故の削減につながった → 今後も事故惹起者への社内教育として対応をしていく
設備	<ul style="list-style-type: none">・ 360° 型のドライブレコーダーの導入より、事故発生時に車内の確認が出来るようになった。安全確認の仕方など細かい点まで分析、指導が出来るようになったことでより有効な対策の立案に繋がった
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 全体的にコロナ禍により、以前と同様の安全取り組みが難しく、新たな方法を模索した1年であった・ そのような中で新人ドライバーによる人身事故を発生させてしまっている → どのような状況でも新人など重点教育者への取り組みは継続していくことが課題となる

5.2021年度 輸送の安全に関する取組み

取組み	狙い
<p>ドライバーに対する教育 (ウィズコロナの中)</p> <ul style="list-style-type: none">・12項目教育 個人教育を中心とした安全教育の確立 乗務員が関心をもって聞くことができるよう、資料や内容のレベルを上げていく	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でも対応できる安全取組みを確立し、安全意識の高いドライバーの育成をする。結果として、全社の事故の撲滅を目指す
<p>個別指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・事故惹起者に対し実施した個別教育を新人など重点的な教育が必要と判断する乗務員に対しても展開する	<ul style="list-style-type: none">・個人の性格や特性に合わせた個人指導を実施することで、重点教育者に高い運転技術を身に付けてもらう
<p>車両整備の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・ドライバーの車両に関する知識のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none">・日常点検や車両知識の教育を行い、車両の特性を理解させる

6.安全に関する情報交換方法



